

福島市立杉妻小学校 実践研究テーマ「『たい』が泳ぎ続ける学校づくり ～キャリア教育の視点を生かした授業デザインを通して～」

キャリアパスポートを活用した学級活動(3)の実践 ～6年～

- 題材 「なりたい自分を目指そう」
- 本時のねらい
自己の立場や役割に気付き、どんな自分になりたいのか最上級生としての目標について考えることができる。
- 「ここでほめたい！」児童の姿
よりよい自分を目指そうとする姿【自己理解・自己管理能力】
- 本時の概要
キャリアパスポートを活用した目標設定を行った。スポーツ選手の目標の立て方を参考にしたり、三角チャートを活用して自己を振り返ったりすることで、役割を自覚し、なりたい自分を目指すことができた。

○学びの姿 アンケート結果を示すことで、課題意識を持たせた。

アンケート結果を示すことで、課題意識を持たせた。

意見の交換を促すために、意見交換の時間を設けた。

スポーツ選手を参考に、目標を立てる時のポイントについて考えた。

三角チャートを活用し、自分のよきや課題について考えさせた。

【理想の6年生】

6年生としての役割を自覚して、目標を立てることができた。

特別活動を「要」とし、育みたい資質・能力について、各教科等での学びをはじめ、学校の教育活動全体での取組を束ねていく



特別活動を要に、学級活動の授業改善を図ってきた。話し合いを積み重ねてきたことで、児童の学級への所属感や自発的・自治的活動への意欲が高まってきた。



どの授業においても「振り返り」の時間を大切にしてきた。これまでの学びとこれからの学びを関連付けていく。

○研究のまとめ

- ・ キャリアアンケートをはじめ児童の実態から育みたい資質・能力について共有化を図ってきた。授業においては「ここでほめたい！」姿を設定し実践したことで、より意図的意識的に指導にあたることができた。
- ・ キャリア教育の視点を生かした授業デザインにより、日々の授業の中に隠れたキャリア教育としての価値に目を向けることができた。これまで以上に児童の姿を意識して価値付け・称賛することができた。
- ・ 特別活動を要にしながら各教科等での学びをより関連付けるとともに、目指す児童像や育成したい資質・能力について、児童や家庭、地域と共有しながら、今後もキャリア教育の充実を図っていきたい。